

## 2016 年度活動報告 学部授業：日本語Ⅰ～Ⅳ（総合政策学部）

牲川 波都季（関西学院大学総合政策学部）

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. 授業の目的

学部正規留学生 1・2 回生を対象に、1 週間に 2 コマ、【読む・書く】【話す・聞く】の技能を扱う。目標は、実際の日本語運用を通して、アカデミックなことばの力（ことばを用いて自らの問題と解決方法を見つけ出し、それらを他者とともに考えていく力）を身に付けるとともに、日本語を使うことへの自信と意欲をもてるようになることである。また、他の留学生との関わりを深めることも重視している。

### 2. 授業内容

#### 【読む・書く】

日本語Ⅰ・Ⅱ：「大学生活でやりたいこと」を巡り、書評・議論を経てレポートを執筆

日本語Ⅲ：研究関心について、問題意識を明確化するためのレポートを執筆

日本語Ⅳ：各自の研究関心に沿った学術論文の読解と紹介発表

#### 【話す・聞く】

日本語Ⅰ：短い新聞記事の紹介発表、グループでのアンケート調査と発表

日本語Ⅱ：時事問題を扱った新聞記事をグループで読解した上で、個人発表を実施

日本語Ⅲ：映像を視聴し、関連する時事問題について議論ののち、グループで発表

日本語Ⅳ：グループでディベート活動を準備し、クラスを超えて試合を実施

### 3. 成果と今後の課題

#### 【読む・書く】

今年度は、全クラスで大幅にシラバス変更を行い、個々人の関心・価値観・問題意識の先鋭化と日本語運用能力の育成とを関連付けた。シラバスの流れは、総合政策学部のカリキュラムに沿ったもので、学科・ゼミ選択に向けての準備ともなった。言語化の支援が不十分という点に関して、日本人学生のサポートなど、検討を要する。

#### 【話す・聞く】

昨年度の反省をふまえ、日本語Ⅱで導入している LTD 話し合い学習法では、実際の話し合い前に合同クラスで LTD の説明を行った。話し合いへの移行はスムーズになったが、発表内容の構成には問題が残った。これは日本語Ⅲ・Ⅳにも通ずる問題であるため、来年度は日本語Ⅱから構成を重視した活動を行いたい。